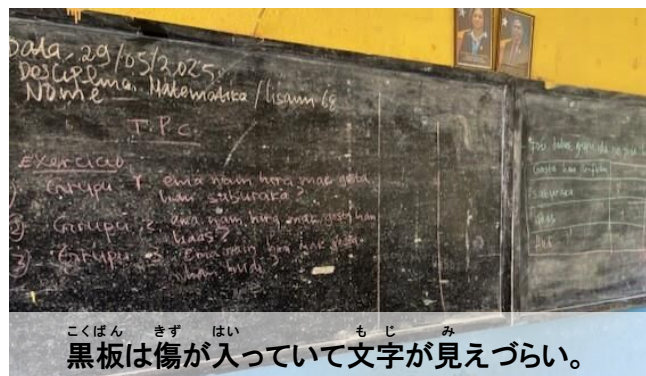


東ティモール どんな授業？ 日本と同じ？ 違う？



子どもたちは教科書がないため、まず先生が黙々と板書をし、この板書を写すように子どもたちがノートを書くことから始まります。先生が板書を終わると、子どもたちに板書の説明をします。練習問題も一人で考える時間はほとんどなく、どんどん答えが書かれていきます。授業の残った時間はすべて子どもたちが板書をノートに写す時間です。

児童数の多さ、机や椅子、黒板といった教室環境からも授業に集中しづらい子も多くいます。また、人数が多いがゆえに個別指導が難しいという問題点もあります。1学年およそ2時間の授業時間。クラスによっては2時間同じ教科の授業をしたり、2時間の間に2, 3教科するクラスも。日本のように授業と授業の間に10分休憩などはありません。



黒板は傷が入っていて文字が見えづらい。

東ティモールの算数教育



簡単な足し算・引き算・掛け算でさえ、難しいと感じている人が多くいます。一番の悩みは言語の多様性です。

お金を数えるとき → **インドネシア語**の数字
日常生活で → **現地語(テトゥン語)**の数字
学校の算数の授業 → **ポルトガル語**の数字

日常生活と算数の授業で使う数字の言語が異なります。だからこそ困惑しているのかもしれません。

Question!!

★東ティモールの言語(テトゥン語)で、数字の1, 2, 3(いち、に、さん)はなんというでしょう？

- ① ida, rua, tolu (イダ、ルア、トル)

③ satu, dua, tiga (サトゥ、ドゥア、ティガ)

② um, dois, tres (ウン、ドイス、トレス)

④ one, two three (ワン、トゥー、スリー)

どんな活動をしているの？

私は、東ティモールの公立小学校（現在は1年生・4年生・6年生）で算数の授業サポートを行っています。子どもたちの算数の学力向上を目指し、授業を考えているところです。複雑な言語環境・板書中心の授業といった現状から、子どもたちが理解できて、楽しい授業になるよう工夫しています。



フラッシュカードを使った授業を！



一言エピソード！！

授業中、身近にある鉛筆を使って多角形を作りました。すると先生が教室の外から細い木の枝をたくさん取ってきて、鉛筆が足りない子どもへ渡したのです。まさかの発想と行動に私も学びになりました！！



九九カード

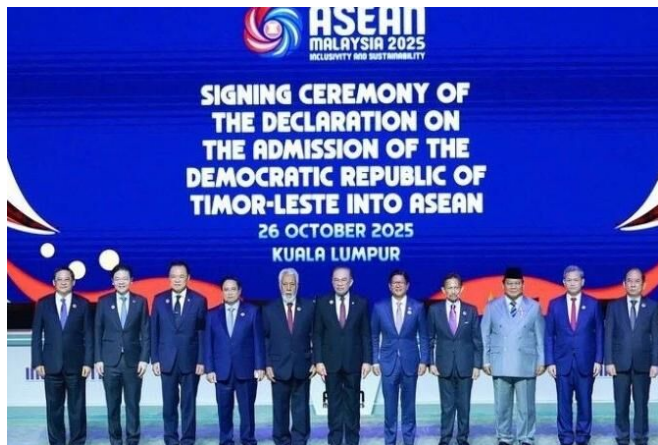


おぼえた子に賞状と折り紙を！

九九カードでは、掛け算を暗記してほしい、成功体験を味わってほしい、紙を大切に扱ってほしいなどいろんな思いがこもっています。

東ティモール ASEANに加盟！！

2025年10月26日、東ティモールが正式にASEANに加盟。ASEAN加盟の申請をしてから14年の年月が経った今、ついに加盟を果たしたそうです。



ASEAN(東南アジア諸国連合)とは...

東南アジアの国々で、経済・社会・技術・科学を良くしたり、問題を解決するためにお互いが協力し、助け合って一緒に成長する団体。

Question！！

★東ティモールが加盟したことで、ASEANの加盟国は全部で何か国になったでしょう？

- ① 5か国 ② 11か国 ③ 21か国

